

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ~なかよく 明るく つよく正しく~

もうすぐ夏休み

7月19日(土)から8月31日(日)まで、子供たちが楽しみにしている夏休みになります。日々の学習や活動から少し離れ、自分の時間を自由に使えるこの期間は、心と体をリフレッシュするとともに、家庭や地域とのつながりを深め、学びを広げる絶好の機会です。また、家庭での役割を担ったり、ゲームや動画視聴の時間のルールを守ったりすることで自律性を高める機会にもできます。有意義な夏休みにするためのポイントをいくつか紹介します。

・生活リズムを整える

体調を崩さず元気に過ごすために、早寝・早起き・朝ご飯の規則正しい生活。

・安全に過ごす

水の事故や交通安全に十分注意し、危険な場所には近づかない。

・時間の使い方を考える

ゲームや動画などの使用時間について、振り返りの時間をもつことで、自己管理能力を養う。

・自分で計画を立てる習慣をつける

「今日何をするか」「どの順番で取り組むか」を子供自身が考える。

・家庭内の役割を担う

食事の準備や掃除など、家庭の一員としての責任ある行動を任せる。

・学び続ける

宿題だけでなく、読書や自由研究など、興味を広げる学びに挑戦。

・地域とのふれあい

地域行事への参加を通して、人との関わり大切さを学ぶ。

・体を動かす

暑さ対策をしながら、適度に体を動かす機会をつくる。



この夏休みが、子供たち一人ひとりの成長につながる充実した時間となることを願っています。1学期、地域と保護者の皆様の温かいご協力とご支援に感謝申し上げます。

着衣泳

7月11日(金)、5年生が水泳学習の一環として「着衣泳」を実施しました。5・6年生の体育の指導内容の中に、「着衣のまま水に落ちた場合の対処の仕方については、安全確保につながる運動との関連を図り、各学校の実態に応じて積極的に取り扱うこと。」とあります。子供たちには、着衣で水に落ちたときの体の動かしにくさや、ペットボトルなどの水に浮くものを使って一時的に体を浮かせる方法等を体験しました。

実際には、強い流れのある川や、急に深みになったり、どろや水草に足をとられたりする池で、身を守ることは困難です。毎年、小中高生が、川や池で遊んで命を落としています。また、救助しようとして水の中に入った人が命を落としています。

子供たちに教えないといけないことは、「川や池で遊ぶことの危険性」です。



運動会に向けて

2学期の大きな行事である「運動会」のスローガンづくりを行いました。各学年で考えたスローガンを持ち寄り、代表委員会で話し合って決定しました。今年度のスローガンは、「ONE TEAM みんなの心をハッピーに!」に決まりました。このスローガンのように、運動会を通して「する みる 支える 知る」スポーツの楽しみ方を体感したり、学年を超えた子供どうしのつながりを醸成したりしていくことができると考えています。



総合的な学習の時間

3年生は、総合的な学習の時間に、真庭市役所地域みらい創生課の地域魅力化コーディネーターの酒井さんをゲストティーチャーに招き、地域の魅力を伝える方法として他県で行われていることを紹介していただきました。3年生の子供たちは調べたことを多くの人に伝えたいという思いがあります。そのヒントとなる学習になりました。



4年生は、福祉について学習しています。調べて分かったことを先日の参観日で紹介しました。調べる際には、福祉協議会の方に紹介していただいた車椅子を利用している方や手話に詳しい方等とオンラインでつなぎ、子供たちからの質問に答えていただきました。



ご協力ありがとうございました。